

補助事業番号： 22-1-024

補助事業名： 平成22年度 環境にやさしい自転車社会作りのための啓発普及補助事業

補助事業者名： 財団法人 日本自転車普及協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車を利用することにより、豊かな自然と快適な生活環境を確保し、健康で明るい社会づくりのため自転車利用の環境促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

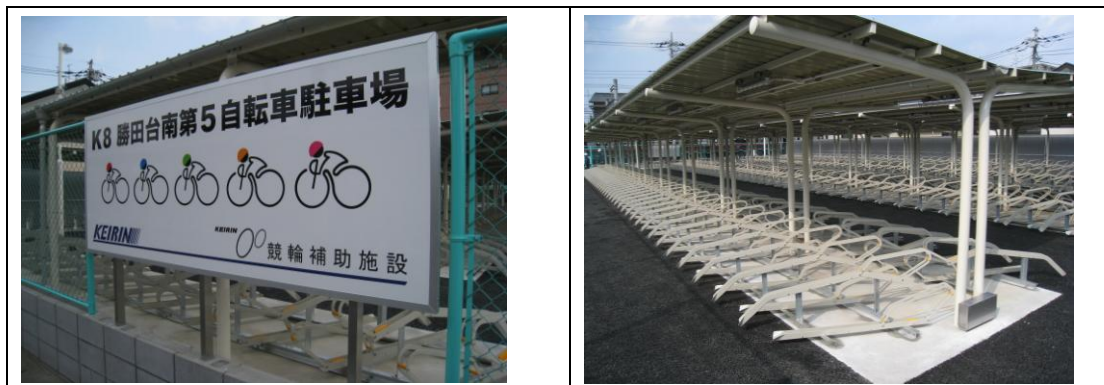
ア. 自転車月間事業

平成22年度及び平成23年度自転車月間の推進について協議するため、自転車月間推進協議会総会をはじめとする諸会議を実施した。また、「自転車月間」および月間趣旨のより一層の普及啓発を図るため「自転車の日」記念行事を開催し「小中学生絵画・作文コンクール」を始めとする種々の催事を執り行なった。



イ. 自転車乗用環境の整備改善に関する事業

自転車駐車場の急速な整備の必要性があり、かつ効果が高いと認められる千葉県八千代市を選定し、自治体と協力して自転車駐車場を設置した。



ウ. 自転車乗用環境の整備改善に関する啓発等事業

バイコロジー運動の推進を図るため、バイコロジーをすすめる会地方組織とともに、事業を実施した他、バイコロジー地方組織の統一活動として交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーン活動を春・秋の全国交通安全運動期間中および5月の自転車月間にて実施し、バイコロジーの全国的な普及啓発を図った。

また、キャンペーンにおいて配布する啓発チラシ（反射シール付）を作成し、バイコロジー地方組織に配布した他、バイコロジー地方組織の活性化を図るため、長野県飯田市、福岡県那珂川町、奈良県奈良市において「バイコロジーシンポジウム」を開催した。

さらに、自転車市民権宣言署名活動及び自転車環境パネルの展示出展など実施した。



エ. 自転車利用の環境促進に関する広報

「自転車月間」の周知浸透を図るため、新聞を活用した広報活動を実施したほか、次年度の小中学生絵画作文コンクールの作品募集に係る事前告知PRを実施した。



2. 予想される事業実施効果

ア. 自転車月間事業

自転車月間事業を円滑に推進することにより、自転車月間の趣旨が広く一般に浸透・定着していくことが予想され、「自転車の日」記念事業を通じて、国民における自転車の安全利用意識の向上が期待できる。

イ. 自転車乗用環境の整備改善に関する事業

本年度においては、千葉県八千代市に624台収容の施設を設置した。これにより、同地域における放置自転車の解消につながるとともに、周辺自治体においても波及的に自転車駐車場の整備、自転車放置対策が促進すると予想される。

ウ. 自転車乗用環境の整備改善に関する啓発等事業

現在の社会状況に合致したバイコロジー運動のあり方、基本的な位置づけ、推進体制等を確認しつつ、中央団体・各地方組織ともその基本に添った具体的実践活動を展開してきたことから、バイコロジー運動のより深い浸透が図られるとともに、今後は国及び地方自治体における自転車乗用環境の整備促進や自転車の健全な普及が進むものと予想される。

また、「バイコロジーシンポジウム」を開催したことにより、各地域におけるバイコロジー運動の普及推進が進み、地方組織の一層の活性化、拡充が期待できる。

エ. 自転車利用の環境促進に関する広報

新聞を活用した広報の結果、自転車月間の趣旨がより一層浸透し、自転車安全利用の一層の促進が期待できる。

3. 本事業により作成した印刷物等

- ・平成22年度自転車月間「自転車の日」記念行事事業報告書 300部作成
- ・平成22年度自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ2010』開催告知チラシ 2,000部作成
- ・平成22年度自転車月間小中学生絵画作文コンクールチラシ 30,000部作成
- ・平成22年度自転車月間小中学生絵画作文コンクールポスター 300部作成



報告書 (<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/information/pdf/2010CDF-repo.pdf>)

